PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
四国センター（JICA 四国）
2021 年 11 月 1 日

愛媛の果物加工技術でカンボジアの果樹農家の所得向上を！
廃棄される果物を美味しく加工・販売

国際協力機構（JICA）は 10 月 15 日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 基礎調査（中小企業支援型）」において有限会社進藤重晴商店（愛媛県四国中央市、進藤峰生代表取締役）が提案する「カンボジア国マンゴー等地元産果実を活用した加工技術による製品化に係る基礎調査」を採択しました。

本調査の対象国であるカンボジアでは、農業は労働人口の約 5 割を占める主要産業ですが、本調査対象地域であるバッタンバン州では保存できず廃棄される農作物も多く、農家所得は低水準にとどまっています。

提案企業である有限会社進藤重晴商店は、1950 年の創業以来、果物の砂糖漬製品の加工・販売を行い、無添加でも加工原料の風味や品質を長期間保存できる加工技術・ノウハウを使って地元農産品の商品化を行っています。

バッタンバン州のマンゴー生産農家

柑橘類の外皮を使ったピール菓子

本調査は同社の提案技術である果実加工技術を活用したビジネスの実現を目指し、調達・加工・販売に関する現地調査やニーズ調査を通して、ビジネスモデルを策定するための調査です。提案技術が普及することにより、農産物の有効活用や高付加価値化を通して農村部の所得向上への貢献を目指します。

本事業は、「基礎調査（中小企業支援型）」として実施されます。「基礎調査」は、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及び ODA 事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2021 年度第 1 回は 2021 年 6 月に公示を行い、6 件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）基礎調査 2021 年度第一回公示の採択結果について
URL： https://www.jica.go.jp/press/2021/20211019_10e.html

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 四国　業務課　　多田、高野、山本
TEL　087-821-8834　e-mail：Tada.Atsushi2@jica.go.jp
Kono.Shota@jica.go.jp
Yamamoto.Rie@jica.go.jp